婦人ひめじ

平成25年11月
編集・発行
姫路市連合婦人会
会長 岩田稔恵

姫路市本町68番地290
イーグレひめじ3F
TEL (079)224-2401
FAX (079)224-2402

平成25年度 姫路市女性文化大会を開催

10月26日(土)、姫路市女性文化大会を、男女共同参画推進センターあいめっせホール(イーグレひめじ)で開催しました。石見利勝市長、杉本博昭市議会議長、北川稔男中播磨県民局長、北野美智子兵庫県連合婦人会長ほか多数の来賓と、婦人会会員約300人が出席しました。

オープニングは、はぎ保育園園児による阿波踊りでした。

式典では岩田稔恵会長の挨拶の後、長年にわたる婦人会長としての活躍に対し、河南真稚子理事に、また、長年積極的に活動されている、砥堀校区、広峰校区、豊富校区に、それぞれ石見市長感謝状が手渡されました。

式典に続き、露の都さんによる、「女性落語家第一号、男女共同社会への提言」と題して、講演会をしていただきました。修行時代の話、結婚後、子育ての話など、仕事をしながらの苦労話を聞かせていただきました。最後に落語を一席、皆さん、声を出して笑って楽しみました。

100歳の方を訪問

9月12日㈭、敬老の日を目前に岩田稔恵会長、山田福美副会長と共に今年1月満100歳を迎えられた勝原校区の岸本ひさ子様宅を訪問させていただきました。お祝い金と祝詞を手渡すと、はっきりと丁寧なお礼の言葉を言ってくださいました。そばにおられるご子息が前朝日谷自治会長であられたことから、山田副会長とも面識があり話も弾みました。

津田朝日谷婦人会長と共に、いつまでもお元気でと祈りながらお家を後にしました。

（山水千恵子）

中播磨地域活動交流メッセ

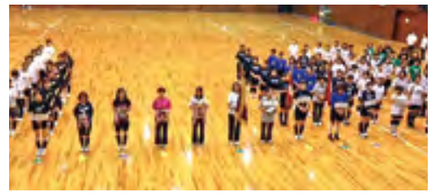
9月14日㈯、福崎町文化センター周辺において中播磨地域活動交流メッセが開催されました。姫路市連合婦人会は「山菜おこわ」350食を用意し、参加された皆様に配布いたしました。

地域消費者学習 実践事業に参加して

10月2日㈬、パナソニックエコロジーセンターの見学に参加しました。資源の少ない日本では、資源の有効活用を進めることが大切であるという理由から、使う資源とごみを減らし、製品や部品として再使用を進めたり、原材料に戻して再利用しているそうです。また、家電4品目では、使用済みのものを引き渡す時に支払うお金はリサイクルをするためとして使われることがわかりました。家電のエコは、省エネだけではなく、リサイクルされて資源として有効活用されることが重要だと思いました。この見学会に参加して有意義でした。

（井上千佳子）

バレーボール大会



9月22日㈰、県内の家庭バレーボールチームが競う「県連合婦人家庭ボール県大会」が高砂市総合体育館で開催されました。各地域の交流と健康維持を目的として、今年で29回目だそうです。

県内11地区から予選を勝ち抜いた16チームで、姫路市からは旭陽校区、勝原校区が出場しました。選手はネットを挟んで攻防。相手のスパイクとブロックを繰り返しました。今一歩入賞には至りませんでしたが、来年の30回目に向けてより一層の参加を呼びかけ、また力強い応援をしたいと思いました。

（山水千恵子）

赤十字奉仕団員研修会

10月18日㈮と、10月23日㈬と2会場に分かれて、兵庫県支部による研修会に参加しました。

研修内容は、三角布の使用法の実習、感嘆の声が、笑顔を保てるような笑顔のエクササイズには隣の人の顔を見て思わず笑いがこぼれました。

和気あいあいと研修を終えました。

ひめじ環境フェスティバル

9月28日㈯、29日㈰、大手前公園において、ひめじ環境フェスティバルが開催されました。姫路市連合婦人会は、牛乳パックを使った小物入れと新聞紙で作る紙袋の講習をしました。

各々、大変な人気で沢山の方に作っていただきました。

環境と美化のつどい

▲美化のつどい

9月29日㈰、あいめっせホールにおいて「環境と美化のつどい」が開催され、岩田稔恵会長をはじめ婦人会員が多数参加しました。

式典では、リサイクル運動功労団体の表彰があり、姫路市連合婦人会から城北校区、旭陽校区、勝原校区が表彰されました。

街頭募金

校区婦人会だより

ふれあい教室「防災訓練」

船津校区

8月11日㈰、船津消防団清水団長、天野副団長をはじめ消防団幹部の皆様のご指導により、消化放水訓練が行われました。消火栓のふたを開け、ホースをつないで放水まで3人1組となって、普段出来ない貴重な体験をさせていただきました。

これから冬に向けて火災が多くなる季節ですが、この訓練から常に防災意識をもつことが大切であることを学びました。

（柴田千秋）

▲3人1組力を合わせて!!

昔遊び大会スタンプラリー

四郷（見野）校区

赤十字奉仕団活動「子育て支援事業」として8月25日㈰に校区の盆踊りに先立って開催しました。竹とんぼ作り・紙飛行機とばし・輪ゴム鉄砲・輪ゴム取り・フラフープの計5部門を用意し、全ての大会に参加した子供達に、ことゑちゃんの店（千本引き、ジャンボサイコロ、射的、パンチボックス等）で、もう一度昔ながらの遊びを体験。300人以上の親子が遊びに夢中になり笑顔がひろがりました。

（竹中安美）

▲はじめての竹とんぼ、どこまでとぶかな?

自力整心整体教室

旭陽校区

9月6日㈮、旭陽集会所にて、自力整心整体教室を行いました。心と身体の健康は切り離せないので、自分の力で心身の健康を維持していくという内容です。約40人の会員が参加し、たくさんのことを教わりました。壁を背にして両腕を真っすぐに上げたまま数分間立っているだけでも運動になるそうです。いつまでも健康で若々しくいたいと、みんな一生懸命習いました。

（三輪るみ）

▲あ!いたた…

今後の活動予定

11月27日㈬	姫同教研究大会
12月４日㈬	人権のつどい
12月11日㈬	消費生活公開講座
12月17日㈫	お城クリーン作戦
12月20日㈮	街頭啓発キャンペーン
平成26年	
１月６日㈪	新年交礼会
１月10日㈮	新春のつどい
２月18日㈫	生活学級合同修了式

姫路市女性コミュニティ活動推進事業「ふれあい」世代間交流会について

山田校区

9月15日㈰、山田小学校体育館で姫路市女性コミュニティ活動推進事業「ふれあい」世代間交流会が行われました。

雨天で足下の悪い中、多くの方に足を運んでいただきました。

長寿の方にお祝品を贈呈した後、落語家の露の団姫さんの落語、老人会の方の隠し芸、婦人会によるアトラクションなどで楽しい時間を過ごすことができました。

参加された方より、「良かった。楽しかった。」というお言葉をいただきました。

（大藤知子）

料理講習会

城西校区

9月27日㈮、大阪ガスショールームにおいて料理講習会を行いました。「体が喜ぶ野菜ヘルシー料理」をテーマに最新の機器を使っての調理に四苦八苦しながらも、いつもの食材からちょっとしたひと手間・工夫でみるみるうちに豪華で美味しい料理に大変身！

「美味しいね！」

「これなら私にも作れそう」

と口々に、会話が弾み笑顔の溢れる会食になりました。

（小坂睦）

▲迷シェフ勢ぞろい

思い込みから思いやりへ

砥堀校区

10月20日㈰、砥堀公民館にて、講師にお迎えした冨田先生より、人権についてさまざまなお話をしていただきました。中でも先生の生徒が、親からの虐待を受けていた時の話を聞くと、大人の身勝手な思い込みで子供が犠牲になっている事を痛感させられました。講義の中で見たＤＶＤにもありましたが、大切なのは、自分にも相手にも人権はあり、人を思いやるという気持ちを持つということですね。

（上田貴子）

▲人のふり見て我がふり直しましょ

勝原祭りに参加して

勝原校区

校区11町が集う勝原祭りが10月21日㈪、勝原小学校校庭で開催されました。

台風と暴風雨の合間を縫って、この日をお祝いするかのような晴天に恵まれました。

婦人会として５００食の焼きそばを焼上げ花を添えました。来賓の皆様にもご試食いただきました。婦人会とＰＴＡ会長および役員の皆様、校区の多くの方々の協力を得て完売いたしました。おかげで楽しい一日を過ごしました。

（久々宮和枝）

施設見学会

豊富校区

秋雨前線と台風17号の影響で朝から大雨の9月4日㈬、私たちは播磨科学公園都市の中にあるSpring-8を見学に行きました。

バスの中からSpring-8蓄積リング棟とX線自由電子レーザー施設SACLAを見学し、オプトピアの職員の方に説明していただきました。私たちには到底理解できるものではありませんでしたが、日本の最先端技術のすばらしさに感動しました。

昼食は、上郡ピュアランド山の里でおいしくいただき、大雨の中、帰路に就きました。みんなの思い出に残る施設見学になったと思います。

（上野裕美）

姫路市施設見学会

中寺校区

9月19日㈭朝、最初は姫路科学館のプラネタリウム。おとぎ話のような星空、今夜は中秋の名月、月を見る目が違ってくるでしょう。展示館では恐竜の鳴き声にびっくり。

姫路みなとミュージアムは新しい施設で、まだまだこれからという説明でしたが、海が見えるだけで私たちは気分もワクワク。

その後、竹善で昼食をとり、姫路防災プラザへ。風水害の3D映像で「きゃ」と悲鳴をあげたり、消火器を実際に使ったり、煙の中を避難したりと体験しながら楽しく学び、有意義な一日を過ごすことができました。

（橋本菜摘）

親睦旅行 京都の旅

網干校区

9月25日㈬、網干校区婦人会は、年1回の親睦旅行に行きました。今年は京都水族館と新島襄旧邸、京都御所の旅でした。秋の彼岸の後だというのに、暑くて大変でしたが、79名無事に事故もなく楽しんできました。

（清水貞子）

宝塚観劇

広峰校区

まだ暑さの残る9月30日㈪、婦人会員44名の参加で宝塚に行って来ました。まずは、神姫バス三田営業所で西日本初のおめみえとなるドイツ製の連結バスの試乗をしました。説明を聞きながら皆さん好奇心いっぱいの様でした。宝塚ホテルでのバイキングは時間もゆっくりで至福のひとときでした。女性憧れの観劇は初めての人も多く、華やかな舞台の余韻に浸りながら帰路に着きました。

（﨑津玲子）

女性コミュニティ活動

校区婦人会では、地域内の女性によるコミュニティ活動の推進を図るために、
様々なイベント事業を実施しています。

余部

津軽三味線・演奏会（菅原聡先生）

9月8日㈰、女性コミュニティ支援事業として、余部公民館へ菅原先生に来ていただき、素晴らしい津軽三味線の演奏と、東日本大震災後、陸前高田の状況や被災者の皆様の様子を、先生の目で見、肌で感じた事をお話していただきました。

菅原先生とは余部で集めた物資を避難所へ届けて頂いたのがご縁で『お礼と近況報告を』との事で、この演奏会を開く事ができました。本当に心に響く音色でした。

（山本みち子）

▲心に響く津軽三味線

牛乳・乳製品料理講習会

水上校区

10月25日㈮、花の北市民広場の料理室で、第4回生活学級「牛乳・乳製品料理講習会」を実施しました。講師は森永乳業・エムズキッチン関西の桝田圭子さん。献立は、チーズ入り巻きご飯、クリープの旨みをいかした肉団子スープ、ヨーグルトのソースをかけたお絵かきパンケーキ。

若い時から最大骨量を高めておくことで、骨粗しょう症の発症を遅らせることができるという話をきき、今からでも遅くない、カルシウムをしっかり摂ろうと思いました。

（名村アツ子）

▲食べるのもったいない

フラワーアレンジメント

城北校区

▲どこに飾ろうかなぁ～

10月4日㈮、第3回生活学級として秋の草花フラワーアレンジメントを実施しました。今年も有馬前会長が丹精込めて作られたコスモス、花ナス、ススキなど沢山つみ採らせて頂き、集会所で楽しくおしゃべりしながら各自のかごに生けました。どの作品も素朴で可憐に仕上がりました。

（有馬由枝）

あいめっせだより

平成25年度「女性に対する暴力をなくす運動」について

国では、毎年11月12日から25日（女性に対する暴力撤廃国際日）までの2週間、「女性に対する暴力をなくす運動」を実施しています。

この運動は、国、地方公共団体、女性団体その他の関係団体の連携、協力の下、社会の意識啓発等、女性に対する暴力の問題に対する取組を一層強化するとともに、女性の人権の尊重のための意識啓発や教育の充実を図ることを目的とするものです。

平成25年度「女性に対する暴力をなくす運動」ポスター（内閣府男女共同参画局）

姫路市が平成25年3月に策定した「姫路市男女共同参画プラン2022」においても、「**あらゆる暴力の根絶**」を「重点的に推進すべき課題」の一つとしています。

暴力は、その対象の性別や加害者、被害者の間柄を問わず、決して許されるものではありませんが、とくに、配偶者等からの暴力（DV）、性犯罪、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為等の被害者はほとんどが女性であり、これらは女性の人権を著しく侵害するものであることから、男女共同参画社会を形成していく上で克服すべき重要な課題です。

そこで、このプランにおいては、①女性に対する暴力を根絶するための基盤づくり②DV対策の推進③セクシュアル・ハラスメント等防止対策の推進などに取り組むこととしています。

国や警察をはじめ、各機関では、さまざまな女性に対する暴力に関する相談を受け付けていますが、姫路市でも下表のような相談窓口を設置していますので、是非ご利用ください（いずれも相談無料）。早めの相談が問題解決への第一歩です。

DV相談支援センター	電話 面接	☎ 221-1532 FAX 221-1534	月～金	8：50～17：20
ひとり親家庭等相談 （こども支援課　母子自立支援担当）		☎ 221-2132	月～金	8：50～17：20
福祉相談コーナー （福祉総務課）		☎ 221-2327	月～金	8：35～17：20
女性のための相談室 （男女共同参画推進センター“あいめっせ”）	電話	☎ 287-0801	火	10：00～16：00
			水・金	10：00～18：00
	面接	☎ 287-0807 （予約制）	火・木・土	10：00～16：00
			水・金	10：00～18：00
	法律	☎ 287-0807 （予約制）	毎月第2火 （原則）	13：30～15：30 ※希望される方は、まず面接相談をお受けください。

（注）いずれの相談窓口も 12：00～13：00 は除きます。
「女性のための相談室」については、平成 25 年 2 月発行『婦人ひめじ』の「あいめっせだより」（8 頁）もご覧ください。